



書
評

内視鏡下鼻副鼻腔・頭蓋底手術 CT 読影と基本手技 [3DCT 画像データ DVD-ROM 付]

監修：伊藤壽一
編：中川隆之

A4・頁 236 2014 年 定価：本体 12,000 円＋税
[ISBN978-4-260-01972-9] 医学書院刊

＜書評者＞ 花澤豊行（千葉大学大学院准教授・耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学）

安全・確実な内視鏡下鼻内手術のために

日々の忙しさから逃れての旅は、格別である。さてどこに行こうかと考え探索し、目的地が定まったときには、そのワクワクした気持ちを言葉で表現することはとてつもなく難しい。まずは目的地の地図を取り寄せ、さらにそのほかの見所や美味しいお店を詳細に書き記した旅本を手元に置きたくなるのは、時間にゆとりのないわれわれ医師には必然の行為ではないだろうか。旅本選びにも大切なポイントがある。旅慣れない者にもわかりやすく、持参品には何が必要か、地図上での見所やおいしいお店はどこか、そして旅程でのトラブルの回避と遭遇した際の対応などが十分に掲載されていることが、必須の記載項目である。

本書はまさに、内視鏡下鼻副鼻腔手術という旅に出る前に必ず用意しておきたいクオリティの高い旅本とあってよいであろう。内視鏡下鼻副鼻腔手術の保険算定が改正され、鼻科治療における内視鏡手術の位置付けは一層確立された。より多くの耳鼻咽喉科医が安全で確実な内視鏡下の鼻内手術ができることを、京都大学を中心とした執筆者たちが心から願った一冊である。

本書の前半には、内視鏡下鼻副鼻腔手術の基本となる、セットアップ、手術器械および副鼻腔炎手術の基本手技が、クリアな鼻内写真と適切な CT 所見を利用

して、わかりやすく解説されている。また、それぞれに掲載されている CT 所見が 3 次元的にみられるよう取り込まれた DVD-ROM が添付されている点は極めて斬新であり、目的地の地図をタブレット端末にダウンロードして旅先のナビゲーション代わりにすることと同様で、とても便利で有用である。後半は、応用編として今後拡大されていくであろう内視鏡下鼻内手術における腫瘍切除、眼窩内や頭蓋底へのアプローチを念頭に入れた先見の内容となっている。これらの手術においては、十分に基本手技が習熟されていることと、術前のプランニング能力の習得が絶対条件である。腫瘍切除においては、術者の技量に応じた妥協点は存在しない。完全切除、根治切除をめざした十分なプランニングと合併症の回避が必要であり、これらの習得には確実に術野の全行程をイメージできる能力の養成やキャグダーを用いた日頃のトレーニングによるところが大きく、それにおいても本書の活用が有効であろう。

表紙の帯に書かれているとおり、本書の発行はナビゲーション時代の鼻科手術書の堂々の刊行といえる。日々の内視鏡下鼻内手術に臨む前に本書をしっかりと読み込むことで、言葉にできないワクワク感をぜひ一緒に感じていただきたい。